

# 習熟度別少人数指導が小学生の算数の学力に与える効果について

## —鳥取県公立小学校データを用いた付加価値モデルの推定—

井上敦(政策研究大学院大学)

2017年1月20日

### 【要旨】

本研究の目的は、小学校における習熟度別少人数指導の学力向上効果を検証することである。算数のテストスコアを算数の習熟度別少人数指導の実施の有無に回帰することでその効果を検証するが、平均的な児童生徒の能力を考慮するために、3年度前の同一児童群の学力調査結果を共変量として用いる付加価値モデルを推定する。鳥取県の小学校別学力調査結果を用いて重回帰分析を行った結果、習熟の遅い児童グループに対して年間授業時数の3/4以上習熟度別少人数指導を実施した学校は、算数のテストスコアに対して正の統計的に有意な差があることが明らかになった。また、学校の学力水準ごとの違いを調べるために分位点回帰を行った結果、この関係は相対的に学力の低い学校において強く見られることが明らかになった。これらの結果から、習熟の遅い児童グループに対して年間授業時数の3/4以上習熟度別少人数指導を実施することは算数の学力向上効果があること、及び、その効果は学校の学力水準によって異なる可能性が示唆された。